

プロトコール名 食道癌 weekly PTX療法

適応 切除不能進行・再発食道癌

条件 二次治療以降の症例に限る

投与期間 3週間投与、1週間休薬 不応まで繰り返す

薬剤名	基準量
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
パクリタキセル	80mg/m <sup>2</sup>		↓							↓							↓														

- ①生食50ml+ビスマラー1A(30min)
- ②生食20ml+ファモチジン20mg 1A (iv)
- ③グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ④生食250ml+パクリタキセル 80mg/m<sup>2</sup> (1hr)
- ⑤生食50ml (5min)

ファモチジンiv ↓			
ビスマラー 生食50ml 30分	グラニセトロン オルガドロン 30分	パクリタキセル 生食250ml 1時間	生食50ml 5分

パクリタキセルは0.22ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与すること  
パクリタキセルはDEHPフリーの点滴セットを使用して投与すること

パクリタキセル製剤は無水エタノールを含むため、アルコール過敏の有無・通院方法を確認

●休薬・減量基準

・次表の基準を満たせば、実施可能

	day 1	day 8 及び day 15
白血球数	3000/mm <sup>3</sup> 以上	2000/mm <sup>3</sup> 以上
好中球数	1500/mm <sup>3</sup> 以上	1000/mm <sup>3</sup> 以上

・次表の基準を目安に減量・休薬をおこなう

AST・ALT		T-Bil	投与量
10×ULN未満	かつ	1. 26~2×ULN	25%減量
10×ULN未満	かつ	2. 01~5×ULN	50%減量
10×ULN以上	または	5×ULNを超える	中止